



発行所 Amori Apple Association 公益財団法人青森県りんご協会 TEL 0172-27-6006 FAX 0172-27-6008 http://www.aapple.jp/ 購読料1か月1,050円(但し会員登録を含む)

果樹の病害防除に チオソック フロアブル 大内新興

本県りんご植栽140周年記念 平成27年度りんご品評会

団体・個人とも広船支会が上位独占 立木品評会は唐竹支会が3年連続



素晴らしい演奏に聞き入る来場者

今年りんご品評会は今年2日、弘東・弘前中央青果の特設会場... 本県りんご植栽140周年記念として開催した今年... 弘前市立堀越小学校の吹奏... 式では本会福士会長... からの主催者挨拶に続き、県や弘前市をはじめ会場提供で協力頂いている弘果... 弘前中央青果の... 大中社長からの... 歓迎の言葉と続いた。その後、本品評会の上位入賞者が発表され、受賞した代



団体・個人とも第1席は広船支会に

まだまだ、度々わたる強風でりんごが、冬本番とは程遠い毎日が続く中、今年を迎え、今年の出産高を激論しながら過っている事である。さて、青森県りんご植栽140周年を迎えた年を振り返り、また、新春に向けて新たな心構えと期待を持って、りんご栽培に取り組んでいく事を願う。今年も、10月に23万トンを突破した。27年産では、平年より9日早い開花となり、昭和42年観測開始以来、3番目に早い記録のスタートとなった。開花直後、黒星病の発生が多く見られたが、他の病害虫の被害は少なかった。6月には、干ばつ傾向が続いたが、りんごの生育は例年を越える。この記念の年こそ是非、実りのある記憶に残る1年になるようお願いしたい。その為にも私たち生産者は、日々努力し、邁進し続けようではないか。

主張

また、度々わたる強風でりんごが、冬本番とは程遠い毎日が続く中、今年を迎え、今年の出産高を激論しながら過っている事である。さて、青森県りんご植栽140周年を迎えた年を振り返り、また、新春に向けて新たな心構えと期待を持って、りんご栽培に取り組んでいく事を願う。今年も、10月に23万トンを突破した。27年産では、平年より9日早い開花となり、昭和42年観測開始以来、3番目に早い記録のスタートとなった。開花直後、黒星病の発生が多く見られたが、他の病害虫の被害は少なかった。6月には、干ばつ傾向が続いたが、りんごの生育は例年を越える。この記念の年こそ是非、実りのある記憶に残る1年になるようお願いしたい。その為にも私たち生産者は、日々努力し、邁進し続けようではないか。

1年を振り返り来年に向けて

りんごの生育は例年を越える。この記念の年こそ是非、実りのある記憶に残る1年になるようお願いしたい。その為にも私たち生産者は、日々努力し、邁進し続けようではないか。

花はさみ

現代のマーケティングにおいて、重要なのは生産者と消費者との共通価値を見いだすことだと考えています。本紙3005号で「ふくろうの会」のふくろうの呼び戻し活動の記事を見ました。すばらしい取組で、消費者あるいは国民にとってまさに新しい価値が生み出されているところなのではないかと感じました。会の活動に協力していただける弘前大学の東信行先生や大学院生のムラノ千恵氏によると、津軽地方では従来から同支会メンバーの出品が5点も入るなど、りんご品評会におけるレベルの高さが際立っていた。

一方の立木品評会においても平川市唐竹支会(出品者 敬称略:相馬浩次、谷口秀樹、猪股政孝、佐藤博久、内山国仁)が3年連続第1席を獲得。また、個人

多様な基本法を制定している。一方、生物多様性で、どう折り合いを付けるかが重要になっていきます。▼わが国の在来種、固有種、絶滅危惧種を守ろうとするのが国のりんご農業に対して、国民は価値を見いださなければなりません。グローバル化の否応ない進行の中で、生物多様性のような「国際的に認められた地域の保護」の概念は、わが国りんご農業を守っていく上での支えになるのではないかと感じています。東北農業研センター 長谷川啓哉

▼現時点でのふくろうの保護はハタネズミ駆除の目的が大きいです。逆に生物多様性をマーケティングにするのは下世話な感じもするでしょう。し

和(葛西伸)が3年連続14回目の優勝に輝いた。また個人部門第1席は同会の齋藤克康さんに決定した。その他各賞の詳細も2〜3ページを参照。

県りんごわい化栽培技術競技会 板柳町わい研 14回目の優勝

この度、りんご品評会への出品によって、県りんごわい化栽培技術競技会が10月13、14に開催していた競

技術の各賞が決定。第1席は板柳町わい化研究会(出品者 敬称略:齋藤克康、中畑元男、成田琢磨、田中

海外短信

米国のミシガン州のりんご生産者はM9台を利用した樹形スレンダーシステムに移行し始めてから断根は行われなくなった。断根がカムバックした理由、3X0.9の高密度断根は15〜20%小さく、果実の大きさは15〜20%大きくなる。ジョナゴールドはその恩恵を受けている。ジョナゴールドは果径が9センチ以上になると加工向けとなり安値になる。果径8センチ程度の果実とは1キタたり11センチの価格差が生じる。

平成27年度 農薬展示・実験圃場 成績検討会を開催

本会は8日、本会りんご講習会において今年度の農薬展示・実験圃場の成績検討会を行った。検討会にはりんご研究所病虫部から病害、虫害の担当者各一名と委託農薬会社と試験実施者など44名が参加して、それぞれの薬剤の効果についての意見や感想を述べ合った。成績内容の詳細については後日、本紙面にて詳しく紹介する。

断根の復活

植て樹形をツールシステムとする垣根仕立に交換する生産者が多くなり、断根による樹勢コントロールを考えたからである。断根は主幹部直径の3倍離れた位置に行うが、問題は同じ圃場でも地方に

休刊のお知らせ

本紙は本号で納刊とします。1月1日には新年特集号を発行します。また、新年1月5日付けを休刊し、15日付けから発行させていただきます。どうぞご了承ください。公益財団法人 青森県りんご協会

青森県りんごわい化栽培技術研究会 結末、流し剪定技術公開と 検討会の参加者募集!

日時 平成28年1月18日(月) 午後2時〜4時30分 場所 りんご研究所圃場 黒石市大字牡丹平字福民24 内容 ①詰め剪定・流し剪定実技 午後2時〜3時30分 講師:櫻庭郁夫氏、津川昭寛氏 相馬 豊氏、大平一仁氏 ②検討会 午後3時40分〜4時30分 講師:剪定講師陣及びりんご研究所栽培部 ※一般生産者:1000円(資料代含む) 申込方法 申し込み締め切りは1月15日(金) 厳守。参加希望者は本会わい化事務局まで申し込んで下さい。 TEL 0172-27-6006

成績検討会の様子



海外短信

米国のミシガン州のりんご生産者はM9台を利用した樹形スレンダーシステムに移行し始めてから断根は行われなくなった。断根がカムバックした理由、3X0.9の高密度断根は15〜20%小さく、果実の大きさは15〜20%大きくなる。ジョナゴールドはその恩恵を受けている。ジョナゴールドは果径が9センチ以上になると加工向けとなり安値になる。果径8センチ程度の果実とは1キタたり11センチの価格差が生じる。



青森県りんご品評会 総合成績

団体の部

Table listing award winners for the 'Group' category, including categories like 'All Japan First Prize' and 'All Japan Second Prize' with names and affiliations.

個人の部

Table listing award winners for the 'Individual' category, including categories like 'All Japan First Prize' and 'All Japan Second Prize' with names and affiliations.

葉っぱの部

Table listing award winners for the 'Leaf' category, including categories like 'All Japan First Prize' and 'All Japan Second Prize' with names and affiliations.



りんご品評会最終審査の様子

Table listing award winners for the 'Fruit' category, including categories like 'All Japan First Prize' and 'All Japan Second Prize' with names and affiliations.



入賞りんご決定の瞬間

Table listing award winners for the 'Fruit' category, including categories like 'All Japan First Prize' and 'All Japan Second Prize' with names and affiliations.

りんご果実品評会

予備審査の糖度調査では、個人の部で17点ほど基準を下回ったものがあり、失格したものが多かった。...

今年出品された果実は、色調・色沢では、着色の濃淡は例年よりも濃く、近年になく素晴らしい出来でした。...

表彰授与式・伝達式の案内
津軽地区(褒賞授与式)
【日時】平成27年12月25日(金)午前9時30分

